

2013年人文学部第3問

1枚目/2枚

数理  
石井K

3 公差が0でない等差数列  $\{a_n\}$  において、初項から第  $n$  項までの和を  $S_n$  とする。また、 $a_5^2 + a_6^2 = a_7^2 + a_8^2$ 、 $S_{13} = 13$  が成り立つとする。このとき、次の問に答えよ。

- (1)  $a_5 + a_8 = a_6 + a_7$  であることを示せ。  
 (2) 数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。  
 (3)  $S_n$  を求めよ。  
 (4)  $m$  を自然数とする。  $\frac{a_m a_{m+1}}{a_{m+2}}$  の値が数列  $\{a_n\}$  の項として現れるすべての  $m$  を求めよ。

(1) 公差を  $d$  ( $\neq 0$ ) とおくと、

$$a_6 = a_5 + d, a_7 = a_5 + 2d, a_8 = a_5 + 3d \cdots \textcircled{1}$$

$$\begin{aligned} \therefore (a_5 + a_8) - (a_6 + a_7) &= a_5 + a_5 + 3d - (a_5 + d + a_5 + 2d) \\ &= 0 \end{aligned}$$

すなわち、 $a_5 + a_8 = a_6 + a_7$  が成り立つ  $\blacksquare$

(2) (1) より、

$$a_5 - a_6 = a_7 - a_8$$

$$\text{両辺を2乗して、} a_5^2 - 2a_5a_6 + a_6^2 = a_7^2 - 2a_7a_8 + a_8^2$$

ここで、 $a_5^2 + a_6^2 = a_7^2 + a_8^2$  であるから、

$$a_5a_6 = a_7a_8 \cdots \textcircled{2}$$

② に① を代入して、

$$a_5(a_5 + d) = (a_5 + 2d)(a_5 + 3d)$$

$$\therefore d(4a_5 + 6d) = 0$$

$$d \neq 0 \text{ より、} a_5 = -\frac{3}{2}d$$

$$\therefore a_1 + 4d = -\frac{3}{2}d$$

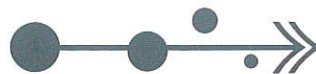
$$\therefore a_1 = -\frac{11}{2}d \cdots \textcircled{3}$$

$$\text{また、} S_{13} = \frac{1}{2} \cdot 13(a_1 + a_1 + 12d) = 13a_1 + 78d$$

$$\therefore 13a_1 + 78d = 13 \quad \therefore a_1 = -6d + 1 \cdots \textcircled{4}$$

③, ④ より、 $d = 2, a_1 = -11$

$$\therefore a_n = -11 + 2(n-1) \quad \therefore a_n = \underline{2n - 13} //$$



2013年人文学部 第3問

2枚目/2枚

3 公差が0でない等差数列  $\{a_n\}$  において、初項から第  $n$  項までの和を  $S_n$  とする。また、 $a_5^2 + a_6^2 = a_7^2 + a_8^2$ 、 $S_{13} = 13$  が成り立つとする。このとき、次の間に答えよ。

- (1)  $a_5 + a_8 = a_6 + a_7$  であることを示せ。  
 (2) 数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。  
 (3)  $S_n$  を求めよ。  
 (4)  $m$  を自然数とする。  $\frac{a_m a_{m+1}}{a_{m+2}}$  の値が数列  $\{a_n\}$  の項として現れるすべての  $m$  を求めよ。

$$\begin{aligned} (3) S_n &= \frac{1}{2}n(-11+2n-13) \\ &= \underline{n^2 - 12n} \text{ //} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (4) \frac{a_m a_{m+1}}{a_{m+2}} &= \frac{(a_{m+2}-4)(a_{m+2}-2)}{a_{m+2}} && \leftarrow \{a_n\} \text{ の公差は } 2 \text{ なので, } a_m = a_{m+2} - 4, a_{m+1} = a_{m+2} - 2 \\ &= \frac{a_{m+2}^2 - 6a_{m+2} + 8}{a_{m+2}} \\ &= a_{m+2} - 6 + \frac{8}{a_{m+2}} \end{aligned}$$

これが  $\{a_n\}$  の項として現れるとして、それを  $a_N$  とすると、

$$a_{m+2} - 6 + \frac{8}{a_{m+2}} = a_N$$

$$\therefore \frac{8}{a_{m+2}} = a_N - a_{m+2} + 6 \quad \cdots \textcircled{5}$$

$\{a_n\}$  の各項は (2) の結果より、奇数  $\therefore \textcircled{5}$  の右辺は偶数

$\therefore a_{m+2} = -1$  または  $1$  であることが必要。

(i)  $a_{m+2} = -1$  のとき、

$$2(m+2) - 13 = -1 \quad \therefore m = 4 \quad \therefore \frac{a_4 \cdot a_5}{a_6} = \frac{-5 \cdot (-3)}{-1} = -15$$

$a_N \geq a_1 = -11$  より、 $a_N = -15$  となる自然数  $N$  は存在せず不適。

(ii)  $a_{m+2} = 1$  のとき、

$$m = 5 \text{ で } \frac{a_5 \cdot a_6}{a_7} = \frac{-3 \cdot (-1)}{1} = 3 \quad \therefore a_N = 3 \text{ より、} N = 8 \quad \therefore \text{成り立つ}$$

(i), (ii) より、 $\underline{m = 5}$  //